

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	グランシティ	事業所番号	1116508092
住所	さいたま市南区太田窪5-28-28	管理者名	柿本大地
電話番号	048-762-6557	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>南区太田窪地域における清掃業務の取り組みについて 当施設は、南区太田窪（善前自治会）より、地域のゴミ集積所管理および清掃業務を受託しています。</p> <p>■ 業務内容： 折り畳み式ゴミBOXの収納 集積所周辺の清掃 不法投棄ゴミの回収</p> <p>■ 実施日： 平日（月～金）、主に午前中 年末年始など施設閉所日を除く</p>	<p><活動の様子></p>  <p>3. 自己効力感・自信の獲得 地域に貢献する仕事であるため、「役に立っている」「地域の一員として活動している」という自覚が芽生える。 一連の業務をやり遂げることで、達成感・自己肯定感が得られ、精神的な安定につながる。</p> <p>4. 個別支援への柔軟性・安心感の提供 体調や精神状態に波がある利用者に対し、作業量や時間を柔軟に調整できる業務であることが、継続的な参加を可能にしている。 **「完全に離脱することなく参加し続けられる」**ことが、安心や信頼関係の構築につながっている。</p> <p>5. 地域とのつながりの強化 地域住民の方から「きれいになって助かっている」などの声が届くこともあり、利用者のモチベーション向上や地域との信頼関係の構築に貢献。 地域に根ざした活動を通じて、**「働くこと＝地域との関わり」**という実感を得られる。</p>
<p><目的></p> <p>■ 目的・特徴： 作業を通じた体力の向上や就労習熟を目的としており、習熟度に応じて他の作業へのステップアップも可能。 一方で、体調や作業強度に不安がある利用者には、作業時間や内容を柔軟に調整し、無理のない範囲で取り組んでもらっています。</p>	
<p><成果></p> <p>地域清掃業務による就労訓練の効果</p> <p>1. 身体面での成果（体力・健康の向上） 毎日の軽作業や屋外活動によって、体力や持久力が向上。 定期的な作業を通して、生活リズムの安定化につながる。 身体を動かすことに抵抗があった方も、自然と活動量が増える環境を提供できた。</p> <p>2. 就労スキル・習熟度の向上 毎日継続して行う作業により、仕事に必要な「段取り」「責任感」などのスキルが育まれた。 利用者の中には、他の作業（例えば内職や軽作業）へ移行・ステップアップする方も実際に見られた。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>①：作業態度に対して いつも落ち着いて作業されていて、安心して見ていられます。道がきれいになると、皆さんのおかげだなと感じています。</p> <p>②：あいさつ・人柄に対して 毎朝の「おはようございます」がとても気持ちよくて、こちらも元気をもらっています。地域の雰囲気も明るくなりました。</p> <p>③：清掃成果に対して 落ち葉やゴミがきれいに片付いていて、犬の散歩がしやすくなりました。細かいところまで目を配ってくださってありがとうございます。</p>			
連携先企業名	善前第一自治会（業務契約済み）	担当者名	

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

Table with 2 columns: 事業所名 (事業所名), 住所 (住所), 電話番号 (電話番号). Values: グランシティ, さいたま市南区太田窪5-28-28, 048-762-6557

Table with 2 columns: 事業所番号 (事業所番号), 管理者名 (管理者名), 対象年度 (対象年度). Values: 1116508092, 柿本大地, 令和 6 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>
実施日：2025年3月5日
活動名：「チャットGPTに触れてみよう！」課題学習
利用者の皆さんと共に「チャットGPT」の使い方を学び、報告・連絡・相談（ホウレンソウ）や自己表現力を高めることを目的とした課題に取り組みました。

<目的>
以下の4つの力を育てることを目的としました。
報告・連絡・相談（ホウレンソウ）の練習
わからないことを調べる力の育成
自分の考えを言葉にする練習
メールで伝える力の向上

<成果>
チャットGPTを活用することで、「自分で調べる力」や「伝える力」への関心が高まった。
「うまく伝わらなかった」「答えが想像と違った」などの気づきを通じて、言葉の工夫の大切さを実感していた。
利用者からは「楽しかった」「仕事でも使えるかも」という前向きな声もあった。
指導員のフォローを通じて、メールの書き方や丁寧な言葉づかいも自然と学べる機会となった。

<活動の様子>
Includes a screenshot of a GPT chat interface with Japanese text. The chat shows a user asking about GPT and receiving a detailed response in Japanese. The response explains what GPT is, its uses, and provides a list of tasks to practice. The text is written in a clear, educational style.

今後に向けて
今回の学びをもとに、今後は以下の点を発展的に取り組んでいきます。
チャットGPTを日常の報告や記録、学習補助ツールとして活用する練習を行う。
利用者一人ひとりの興味や希望に応じた質問例を増やし、個別支援計画と連動した活用を図る。
情報リテラシー教育の一環として、正しい使い方・注意点についても繰り返し指導していく。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

今回の研修を通して、情報を自分で探したり、考えを言葉にする力が少しずつ育ってきているように感じました。デジタルツールを活用しながら、自分の意見や希望を整理できる力は、今後の仕事にも役立つはずです。これからの成長を楽しみにしています。

連携先企業（担当者）

利用者からの意見・評価

3. 感想
これまでTelegramの活用についてある程度勉強し基本的な知識は持っていました。今回の研修を通して実際の運用における具体的な操作や工夫の重要性を改めて実感しました。
特に「メッセージングの活用」や「ストーリー・リールの活用方法」、「PDFを閲覧しながら学習していく」などが、実践として活用したいと感じました。実際に活用することで、学習意欲やモチベーションが向上するのではないかと感じました。
また、コミュニケーションツールを活用して、新しい情報を得るだけでなく「自分の考えを言葉にする練習」や「自分の考えを言葉にする練習」も行うことが、今後の学習や生活に役立つのではないかと感じました。
一方で、実際に活用するための具体的な手順や、よくある失敗例とその対策についても書かれていたのが、実際に活用する際の参考になりました。特に「自分の考えを言葉にする練習」や「自分の考えを言葉にする練習」も行うことが、今後の学習や生活に役立つのではないかと感じました。
今回は、学んだ知識を自分なりに実践し、実際に活用して練習しました。自分なりの実践方法を身につけていきたいと感じています。今後の研修も楽しみにしています。
以上となります。
ご報告申し上げます。
栗田 真実子